

788-805 分水孔コック(ニップルつき)

788-903 分水孔コック

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上の注意

使用される前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく使用してください。



注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

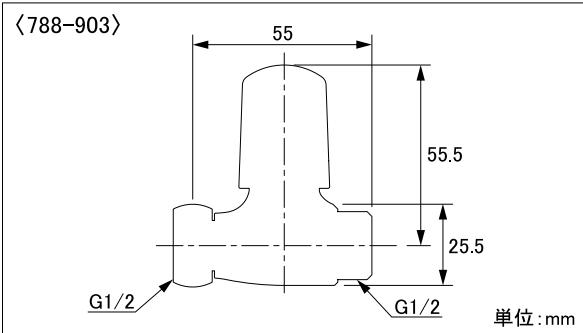
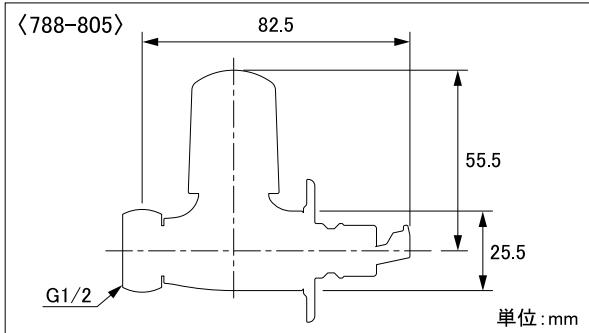
- 分水孔コックは絶対に分解しないでください。故障の原因となります。
- 逆流防止のため、必ず逆止弁を併用してください。
- 分水孔コックは水栓などの開閉器具や配管途中のバルブとして使用しないでください。器具などの破損および故障の恐れがあります。
- 60°C以上のお湯には使用しないでください。器具などの破損および故障の原因となります。
- 分水孔ハンドルは無理な力でまわさないでください。取付部分がゆるみ、水もれの原因となります。
- 取付部分がゆるんだ場合は、**取付方法** の手順2-①,②を参考に、取付ナットを締直してください。
- 分水使用後は必ず分水孔コックを止水状態(閉)にしてください。長時間分水孔コックを吐水状態(開)のまま放置すると器具の破損および故障の原因となります。

製品仕様

〈788-805/788-903〉

材質	青銅、黄銅、ABS	使用温度	1~60°C
使用流体	上水道水	使用圧力	0.05~0.75MPa

寸法図



取付方法

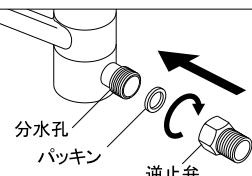
* 取付けの前に…数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて作業を行ってください。

1.逆止弁を取付けます。

分水孔コックを取り付ける部分(水栓の分水孔など)に逆止弁を取付けます。

*すでに逆止弁が付いている場合は、この作業は必要ありません。

* イラストの逆止弁は弊社製品(品番:9653 逆止弁ニップル)です。別途、お求めください。



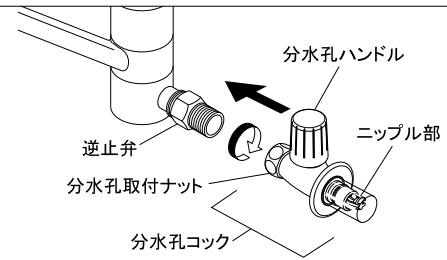
裏面へ続く▶

取付方法(つづき)

2.分水孔コックを取付けます。

*「●分水孔コックの操作方法」を参考に、分水孔ハンドルを止水状態(閉)にしてください。

- ①分水孔取付ナットにパッキンをはめ込み、取付ナットを手でまわして締付けます。
- ②分水孔取付ナットを「レンチ」などで締付けます。



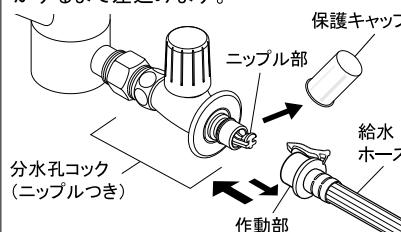
3.給水ホースを取付けます。

* 788-805の場合は、ニップル部についている保護キャップを外してから、作業を行ってください。

- 給水ホースは急な角度に曲がらないように設置してください。吐水不良となり、十分な流量が得られない場合があります。
- !** ●分水孔コックが吐水状態(開)の時に接続しているホースなどを取外さないでください。水もれにより、家財に損害を与える恐れがあります。

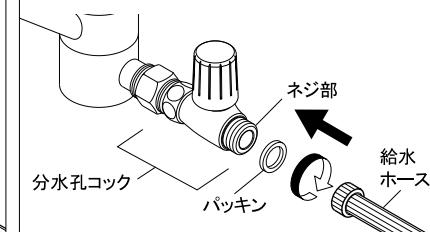
<品番:788-805の場合>

給水ホースの作動部を手前に引っ張りながら、分水孔コックのニップル部に「カチッ」と音がするまで差込みます。



<品番:788-903の場合>

給水ホースを分水孔コックのネジ部に取付けます。(取付ネジサイズはG1/2です)



●取付後の点検

* 使用方法の「●分水孔コックの操作方法」を参考に下記の点検を行ってください。

- ①分水孔ハンドルが止水状態(閉)にあり、給水ホースが接続されていることを確認します。

- ②止水栓または元栓を開き、各部に水もれがないかを確認します。

- ③分水孔ハンドルを吐水状態(開)にして、各部に水もれがないかを確認します。

* 水もれが発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、水もれする箇所を施工し直してください。

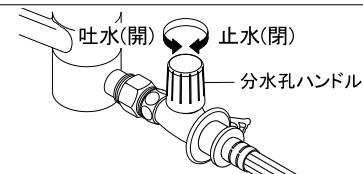
使用方法

●分水孔コックの操作方法

分水孔ハンドルをまわすことで、分岐側の吐水および止水ができます。



- 開閉操作は必ず、給水ホースを接続してから行ってください。
- 急な開閉操作は行わないでください。
- 使用後は必ず止水状態(閉)にしてください。

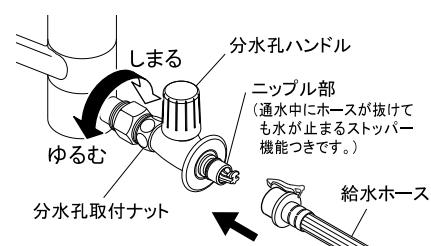
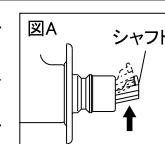


●788-805 分水孔コック(ニップルつき)のストッパー機能について

給水ホースを差込む前に通水した場合や、通水中に給水ホースが外れた場合は、分水孔ハンドルを止水状態(閉)にし、図Aの矢印の方向にシャフトを押込み、内部にたまつた圧力を逃がしてから給水ホースをニップル部に差込み直してください。

*圧力を逃がす際、ニップル内部に溜まった水がこぼれますので、タオルやビニール袋などで受けながら作業してください。

*上記の方法で圧力を逃がせない場合は、止水栓または元栓を閉め、分水孔ハンドルを吐水状態(開)にし、分水孔取付ナットを「レンチ」などでゆるめ、完全に圧力を逃がしてから、再度取付方法に従って取付けてください。



- 分水孔取付ナットをゆるめる際は、必ず止水栓または元栓を閉めてください。止水不良により水がもれ、家財に損害を与える恐れがあります。
- 作業中は他の箇所がゆるまないように注意してください。
- 定期的に、本品および給水ホースの接続部などに水もれがないかを確認してください。